

世の中をつくるのは 君だ

BUILD THE WORLD

ZENITAKA RECRUITING BOOK

Zenitaka

世の中を、 時代を、人のチカラで つくる仕事

経験と実績の上に、一人ひとりが輝ける場所

創業から300年以上の歴史 数々の歴史をつくってきた。



本願寺尾崎別院

当社には300年を超える歴史があります。江戸時代より番匠屋 銭高家は宮大工の棟梁を代々家業としてきました。1705(寶永2)年に業祖 銭高林右衛門が棟梁として建立に携わった本願寺尾崎別院が落慶。これが銭高組創業の瞬間です。1887(明治20)年に屋号を銭高組に改め、明治の文明開化の波と共に勃興しつつあった西洋建築の新技術や近代経営を取り入れ、数々の建造物を世に残してきました。

確かな技術で日本の、世界をつくり続ける。



ワルミ大橋



中之島新線



柏の葉スマートシティ

橋長315m、アーチ橋として日本国内5番目の長さの橋りょうであるワルミ大橋をはじめ、鉄道・建築・土木の分野で日本の、世界の未来をつくり続けています。

共に、世界をつくる。銭高組のすべては「人財」にあり。

- 1 現状に満足することなく、チャレンジ精神旺盛な人。
- 2 自分のアイデアをスピーディーに実行して結果を出そうと努力する人。
- 3 バイタリティーあふれる人。
- 4 常に問題意識をもって物事に取り組む人。

銭高組では、多くの社員が早い時期からやりがいのある仕事を任されることで、成長を重ね、創造する力を身につけてきました。それは、今後も変わることはありません。そして、これからの銭高組の未来をつくっていくのは、そうした環境のもとで仕事に取り組む新しい「人財」たちだと私たちは確信しています。

銭高組のすべては「人財」にあり。
銭高組はこれまでも300年を超える歴史のなか「人財」のチカラで
人々の夢を大地に刻んできました。

若手であっても実力があれば大規模なプロジェクトに参加できる。
やる気があればグローバルにチャレンジできる場所が銭高組にはあります。



関係者が歩調を揃えるための
コミュニケーション能力が重要

SHINSUKE YONEZAWA | 大阪支社 / 土木部
米澤 伸祐 | 2010年入社 / 工学部・社会建設工学科

MISSION & EPISODE

私は入社1年目から北陸新幹線(富山駅~金沢駅間)の高架橋という大きな現場を担当しましたが、2年目に自分で工程表を書くようになり、職人さんからたくさんのお話を教えてもらいました。正直、1年目で土木の勉強をしっかりとやっただけだったので、精神的にも肉体的にも辛い時期でしたが、職人さんたちと密にコミュニケーションを取るようになり、毎日乗り越えました。

4年目で現場がトンネル工事の担当に変わったのですが、それは入社当時の作業所長が私を呼んでくださったから。職人さんたちとのやり取りを見てくださっていたのです。「努力が実った」と心から嬉しく思いました。現場では工程管理の一切が任せられたので、朝礼が始まる前によく作業所長のところへ相談に行きました。なによりもコミュニケーションが大切であることが十分に分かっていました。

土木
施工
更地の状態から構造物を施工する。工期が年単位の長期にわたる場合がほとんどなので、特に工程管理が重要となる。

MY
CAREER

1年目 / キャリアスタート!

北陸新幹線(富山駅~金沢駅間)の高架橋の現場に配属。いきなりの大きな現場に圧倒される。ひたすら現場の動きを見て学ぶ日々。

2年目 / 工程表を書くようになるが

工程表を書くようになるが、管理ミスや情報伝達不足などで、職人さんたちにしばしば叱られ自信を喪失。歯を食いしばって目の前の仕事に取り組む。

4年目 / 現場がトンネル工事。

先の現場の作業所長に呼んでもらい、工程管理の一切が任せられる。責任感から仕事へのモチベーションがアップ!

7年目~ / 現在

新大阪駅から関西空港に繋がる新路線に設置される大阪駅西の新駅が現場に。大阪・梅田に入りを呼び込むため、日々仕事に励む。

客観的に現場の状況を捉えつつ
二人三脚で業務の遂行を図る

TAKUYA AZUMA | 総務財務統轄部 / 大阪経理部 / 経理課
東 拓矢 | 2015年入社 / 経済学部・社会システム学科

MISSION & EPISODE

経理の仕事という、ある意味独立した部署というイメージを持たれがちです。当社の経理もそのような側面は確かにありますが、一方で、現場との二人三脚で業務の遂行を図るという熱い部分も併せ持っています。

月に数十億円という膨大な金額の出納を扱うことが多く、その分、経理の一人ひとりの責任も大きくなります。また、現場での状況把握も、私たちの大切な仕事の一つです。当社の経理では、時間を見つけては現場にパトロールに行き、現場ごとのプロジェクト会議に出席し、現状を聞いたりしています。現場に足を運ぶことで「半年前は更地だった場所に、こんな立派な建造物ができている」と驚くと共に、現場と一体となって仕事をしているという実感が湧きます。

経理
案件ごとの請求書の処理、入金・出金など、出納関係の全てを管理。ときには、各部署に出向き、現場の状況なども視察する。

MY
CAREER

1年目 / キャリアスタート!

研修で様々な部署をまわる。多くの経験ができたことで現場だけでなく、たくさんの部署の力によって会社が成り立っているのを知る。

2年目 / 人事から経理へ

半年間、採用業務に従事した後経理部へ異動。現場を見に行く、プロジェクト会議に出席するなどして、現場との一体感を強める。

3年目~ / 経理のプロを目指して

経理業務の知識・技術をさらに深める日々。



お客様の要望に応えるため
とにかく足と時間を使う

HARUNA OKAMATSU | 建築事業本部 / 設計統轄部 / 設備設計部 / 設備設計課
岡松 はるな | 2011年入社 / 自然科学研究科・建築学専攻

MISSION & EPISODE

当社は様々な物件を若いうちから担当できる社風があります。私が2年目で担当した物件は、通常の保育所ではなく病院に併設された保育所でした。設計の仕事はお客様の要望を聞き、図面を作成しメールで送信すれば終わるわけではなく、お客様の要望を詳細に聞き出すために、設計図作成前に何度もヒアリングをし、図案を送信した後は説明のためにお客様のもとに通い、着工前にできるだけ細かいところまで確認することが大切です。また、自分の考えを押しつけるのではなく、「相手の要望にそったものづくりをする」が鉄則です。

保育所の案件では、私は毎週お客様のところへ打ち合わせに行き、電気や空調の位置などを一つずつ決めていきました。苦労した分、物件が完成したときの達成感は大きく、自分の自信に繋がりました。

設備
設計
建物全体についての要望を聞き図面を作成。現場に渡した後は図面に基いて工事が進められているか足を運んで監理する。

MY
CAREER

1年目 / キャリアスタート!

建築部で研修。公共施設の施工管理として案件に携わる。

2年目 / 様々な物件を担当

2つ目の物件で病院に併設された保育所の設計を任せられる。

3年目 / バリバリ仕事をこなす

数々の設備設計を担当し、経験を積む。

7年目 / プロ中のプロを目指して

今年で7年目。将来は若手を引っ張っていきける存在になることを目指して、キャリアアップ中。



建物内の建築施工に関する
全てを管理する責任者

DAISUKE YAMANAKA | 大阪支社 / 建築部
山中 大輔 | 2016年入社 / 工学部・建築学科

MISSION & EPISODE

当社は大規模な案件や有名建築家の案件などに携わることができるので、ものづくりが好きな人がトータルに実力を伸ばしている環境があります。

厳しさと優しさが入り混じっているのが現場です。入社1年目で、建築施工の管理を担当したとき、私の確認ミスが原因で、工程に支障をきたし、職人さんから「監督としての資質がない」など厳しく言われました。そのとき、当時の作業所長が「これからの頑張り認めてもらおう!」と励ましてくれたことに奮起し、工程チェックと段取りにいっそう力を入れるようになりました。そして、入社2年目でコンクリートの段取りを任せてもらい自分の計画通りに現場が進んだときは、大きな達成感がありました。現場の厳しさと優しさが、社員一人ひとりを成長させてくれます。

建築
施工
現場の工程管理や安全・品質管理など、建築全体の施工管理を担当。

MY
DREAMS
銭高組で
叶えたいこと

いずれは若手に目指される...
そんな憧れの存在になりたい

私は、仕事において「しっかりと考えてから動きたい」という思いがあります。先輩や上司から指示を受けて、自分が「なぜ、そうするのだろうか?」と疑問に思ったときは、言われたままに動くのではなく、指示の理由を聞き、指示の理由がわからないのに納得したフリをしない、自分の考えは包み隠さずしっかりと伝える。これが自己成長に繋がると考えるからです。今の現場の作業所長は、質問したことに親身になって丁寧に答えてくれます。だからこそ、安心して仕事に集中することができます。将来は、今の作業所長のような、部下に親身になれる、人が憧れる存在になるために日々努力を重ねていきたいと考えています。

紙上の数字だけを追うのが
設計者の仕事ではない！

NAHO TAKIGUCHI | 建築事業本部 / 設計統轄部 / 構造設計部 / 構造設計課
瀧口 菜穂 | 2009年入社 / 工学部・建築学科

MISSION & EPISODE

当社は構造設計者が工事監理も兼任するため、他社と比べて設計時の不具合が後の自分に返ってくるという仕事のシビアさがあります。しかし、その度に自分の仕事の甘さを学ぶことができるので、自己成長に繋がります。

構造設計者は、紙と数字だけの世界で仕事をしがちですが、私たちは週に1〜2回の頻度で現場に足を運ぶので、自然とスケール感覚が身についていきます。紙を目の前にしながらもイメージが立体化されやすくなるので、着工後に不具合が起きにくく、工事の進行がスムーズになり、自分自身の大きな自信に繋がります。

設計図を基に工事が進んでいく様子をリアルタイムで目にするので、仕事の責任感が増します。その分、物件が完成したときの達成感は大きくなります。

構造
設計

構造に関する図面を作成し、工事が始まると工事監理を担当。平均して1案件につき1年半程度のスパンで仕事を遂行する。

MY
CAREER

1年目 / キャリアスタート！

研修期間、現場にも頻りに足を運び、実際に図面が立体になっていく様子を体感してスケール感を身に付ける。

2年目 / 構造設計部へ

研修期間に身につけたことを糧に、構造設計のプロとして歩み始める。

6年目 / 案件をトータルで担当

自分がメインとなって設計させてもらうようになる。スケジュール感や責任感がシビアになると同時に、仕事に対する充実感・達成感がアップ！

足を使って関係者を繋ぎ
一つの物件を完成させる

TERUHIKO TSUGAWA | 東北支店 / 建築営業部 / 営業課
津川 輝彦 | 2010年入社 / 経済学部・経営学科

MISSION & EPISODE

2011年東日本大震災の翌年、2012年に地元である宮城県に配属になりました。私に巡ってきたのは、南三陸町の病院、役場庁舎の案件。町長から「街としての復興の起爆剤になる物件をつくってほしい」と熱い願いを託されました。営業はお客様、そして関連する人や会社とのパイプ役。物件に関わる全員が「チーム」となれるよう、足を使って信頼関係を築いていきます。関係者のところへ出向き、顔を見せて話を聞く。日々、コミュニケーションをしっかりとって、信頼の基盤固めをしていく。営業の普段からの心掛けが、「みんなが喜ぶ物件」を完成させるのだと思います。

更地だった場所に建設された病院や役場庁舎を見て、街の人たちが心から喜んでくれました。震災復興に貢献できた嬉しさと、これが完全復興の第一歩に繋がるという希望が感じられた瞬間でした。

営業

自社の魅力を理解し、お客様に説明できる力が必要。真摯な姿勢とスピーディーな対応が信頼感を生み出す。

MY
CAREER

1年目 / キャリアスタート！

東京で工事事務に配属。様々な現場を見て回る日々。

3年目 / 経験を積み、地元・東北へ

東京で多くの経験を積む。2011年東日本大震災の翌年、2012年に地元である宮城県に配属。

5年目 / 街のシンボルをつくる

街のシンボルとなる南三陸町の病院、役場庁舎の案件に携わる。

多岐にわたる業務を通して
プロジェクトを成功に導く

KAZUYA IWATA | 大阪支社 / 工事事務課 (現場事務)
岩田 和也 | 2016年入社 / 経済学部・経済学科

MISSION & EPISODE

私の父も建設業界に携わっており、子どもの頃、父がつくった建物や橋を見るたびに、有名な建造物の施工に関わった父が誇らしく、また自分も将来は大きな建造物をつくる仕事に携わりたい、と思うようになりました。

工事事務は作業所と会社を行き来しながら、現場業務がスムーズに進むよう、環境や状況から一歩先を見通して業務に取り組み、現場と心をつなげて仕事をしています。

他部署と密接に連携するため、プロジェクトの全体像が客観的に見えやすく、プロジェクトの進行を通して自分の業務に達成感を持ちやすいことが、工事事務というポジションの魅力の一つかもしれません。所属する部署の枠にとらわれず、意欲的・主体的に仕事に取り組む人が伸びていきやすい仕事だと思います。

工事
事務

経理、資金管理、地元対応の補佐など、プロジェクトをスムーズに進めるための補助業務全般を担う線の下力持ち。

MY
DREAMS

いつか大規模工事を受注できるように、
現場での経験をチカラに変えたい

工事の最前線となる現場にいて、事務職の枠を超えた様々な知識を吸収していきたいと思っています。現在でも工事検収の前には報告書を作成するなど、施工業務を手伝うことがあります。その中で、工法のことや、現在どんな工事を行っているのか、勉強できることはまだまだたくさんあります。将来的には営業職として仕事をしたいという希望があります。それまで経験を積み上げて、大規模工事を受注ができるようなチカラを磨いていきたいと思っています。

幅広い興味と探究心で
お客様の満足を引き出す

TAKEMA HIROSE | 建築事業本部 / 設計統轄部 / 意匠設計部 / 意匠設計課
廣瀬 武馬 | 2009年入社 / 工学研究科・建築学専攻

MISSION & EPISODE

私は建築家・安藤忠雄氏の「光の教会」など、有名物件や大型物件を手掛けた実績に憧れて入社しました。入社時から「デザイン性の高い案件に携わりたい」と希望しており、そんななかをまを会社は受け入れてくれました。その中でも特に印象に残っているのは、ホテルとオフィスが併設されたデザイン性の高い商業施設。着工してから同時進行で設計していくため、時間に制限がある中で最適解を見つけ出すために、私は何十案もの設計案を作りお客様に提案しました。今振り返れば力業だったと思いますが、その情熱はお客様に届き、非常に喜んでいただきました。

設計者は建築物に興味を持ち、流行を追い続ける姿勢が欠かせないと思います。各地の建築物を見るために旅行をするなど、キャリア7年目の今でも日タインブットを心掛けています。

意匠
設計

構造設計や設備設計など設計全体を取りまとめる仕事。広い視野と建築の流行を追い続ける飽くなき探究心が必要。

MY
CAREER

1年目 / キャリアスタート！

基礎的な知識と技術を身につける。

2年目 / 意匠設計部へ

意匠設計部に配属。上司の下でホテルとオフィスが併設された商業施設を担当。

5年目 / 設計のメインとして

自分がメインとなり、物件の設計を手掛けるようになる。



下道 輝希 TERUKI SHITAMICHI

北陸新幹線 / 八日市川橋りょう他工事
2006年入社 / 農学部・農林環境科学科

全体工事主任。河川や構造物などの工事全体における方針や工程ほかを主任的立場でまとめている。現場に携わるのは今回で5つ目。今回のプロジェクトは特に大規模のため、様々な関係者の声に耳を傾け、最適解を見つけ出すことに注力している。将来の目標は、安井作業所長のような仕事に精力的な作業所長になること。

安井 満 MITSURU YASUI

北陸新幹線 / 八日市川橋りょう他工事
1991年入社 / 理工学部・土木工学科

作業所長。1993年まで東京勤務の後、大阪支社に勤務。入社11年目(34歳)で作業所長に就任。2つの大きな現場をまとめ上げる。今回のプロジェクトの前は大阪支社土木副部長。小学生のときに野球を始め、今も社会人チームで監督兼現役プレイヤー。大のだんじり好きで、地元の岸和田だんじり会では来年副会長に就任予定。

丸山 翼 TSUBASA MARUYAMA

北陸新幹線 / 八日市川橋りょう他工事
2015年入社 / 建設システム工学科

3年目で本プロジェクトに参加。杭全般の管理業務を担当。管理担当者としては一番の若手として期待を背負う。現場の規模が大きいため、常日頃から危険やリスクの発見に努め、作業員へ積極的に注意を促し、安全に作業ができることを心がけて日々の仕事に取り組んでいる。

ZENITAKA ENGINEER INTERVIEW

「銭高組」現場の最前線

「土木」の技術者3世代が語る 北陸新幹線 高架橋プロジェクト

当社では、西北代工事のほか富山県内で「北陸新幹線小矢部橋りょう」「富山高木高架橋」「高岡開ほつ高架橋」の3工事が、石川県内で「加賀犀川高架橋」「松任高架橋」の2工事が竣工しています。ここでは北陸新幹線 高架橋プロジェクトにかける願いと情熱を、「銭高組」の3世代を代表する3人の技術者に語ってもらいます。



北陸新幹線事業を支える 高架橋プロジェクト

Talk theme 01

安井 このプロジェクトは、北陸新幹線の延伸工事の中でも重要な現場。工事価格が100億円を超えるレベルなので、当然人員規模も大規模ですが、2人はどんなことに苦労している？

下道 いつも大勢の人たちの熱心な働きぶりに圧倒される毎日です。その中で、自分なりに大勢の人たちを効率よく動かせるにはどうしたらいいのか、そのための段取りは…などを考えています。現場を経験するうちに仕事の勤が養われて、肉体的にも精神的にも少しは楽になってきました。

丸山 私は今回のように施工距離が2kmを超える現場は初めてで。日々、目の前の仕事で精一杯なので、まだ「仕事が楽しい」と思えるほど余裕はありません(汗)。

下道 みんなそんな時期を経て、大きな仕事を任せられるようになる。今の苦労は財産だよ。

安井 建設業界は年齢層の幅が広い。若手の仕事に対する士気をどうやって上げるか、それは中堅の人材がキーになる。下道くんのような世代が、仕事のノウハウだけでなく、やりがいも伝えてほしいね。

下道 キーとなる世代代表として頑張ります(笑)！



丸山 私も、精一杯頑張ります！！

ポジティブな気持ちが 仕事を楽しくさせる

Talk theme 02

安井 丸山くんはこの現場に配属された当初は、「エライ現場に来たな」という悲壮感すら漂う顔をしていただけ(笑)、最近はずいぶん良い顔になってきたよね。

丸山 現場では毎日、多くの人と顔を合わせるので、せめて挨拶だけは自分から大きな声ですることを目標にしています。それで、みんなの士気が上がっていくといいな、と思っています。



安井 いいね！ 建設業界は、「3K」(危険、きつい、汚い)などと散々に言われたりするけれど、まず体感として味わうのは「きつい」。これを乗り越えるためには、現場の士気を高めるしかない。管理者である自分から挨拶をして現場を明るくしようとする姿勢は、必ず現場の空気を良くするよ。

下道 この業界に入ってくるほとんどの人は、ものづくりが好き。工事に携わる人の気持ちは、きっとみんな同じだと思う。「失敗したくない」「いいものをつくりたい」。みんなの気持ちが合わされば、仕事は成功しますよね。

安井 毎日、仕事は挨拶から入って挨拶で終わる。人間関係も仕事も、基本が大切だね。

下道 世間では労働層の逆三角形、若手不足などと言われる中、当作業所は年齢構成のバランスがいい。現場の雰囲気がいいと関係業者からも聞きます。会社全体で基本が守られているからこそだと思います。

将来の強烈な目標が 仕事の意欲を引き出す

Talk theme 03

下道 丸山くんは入社3年目なので、そろそろ仕事の見通しがついてくる頃かな？ ステップアップすると、工程表に基づく



だけでなく、自分で考えて仕事をより良くしていけるようになるよね。

丸山 そうですね。仕事の中で、時間の余裕がないながらも、工程表を見ながら「こうしたらどうかな？」「ああしたら、もっとスムーズになるのかな？」と自分なりに考えてみることはあります。

安井 「石の上にも三年」という言葉があるけれど、若いときにマニュアル任せでボーッと過ごすのか、自分なりに考えながら仕事をするのかで、将来が必ず変わってくるね。シミュレーションで頭が鍛えられてくると、1日の工程しか考えられなかったのが1週間、1ヶ月…と長期にわたって見通せるようになってくる。工程を見通すためには、全体を見て、気配りできることが大切。これが早く作業所長になれる人の素質だと思うよ。

MESSAGE TO YOU

安井 私を含め、当社の人間はみんな、仕事に対する熱い思いをもっています。本プロジェクトが成功したとき、きっとみんなで抱き合い、泣いて喜ぶことでしょう。熱いハートを持った人を大歓迎します。

下道 将来は作業所長になって、自分の主導でものづくりをしていきたいと願っています。同じ気持ちの人、一緒に仕事をしませんか？

丸山 このプロジェクトには、私たち施工関係者の熱い思いがたくさん詰まっています。熱い思いをカタチに残したいと考えているあなたを待っています！

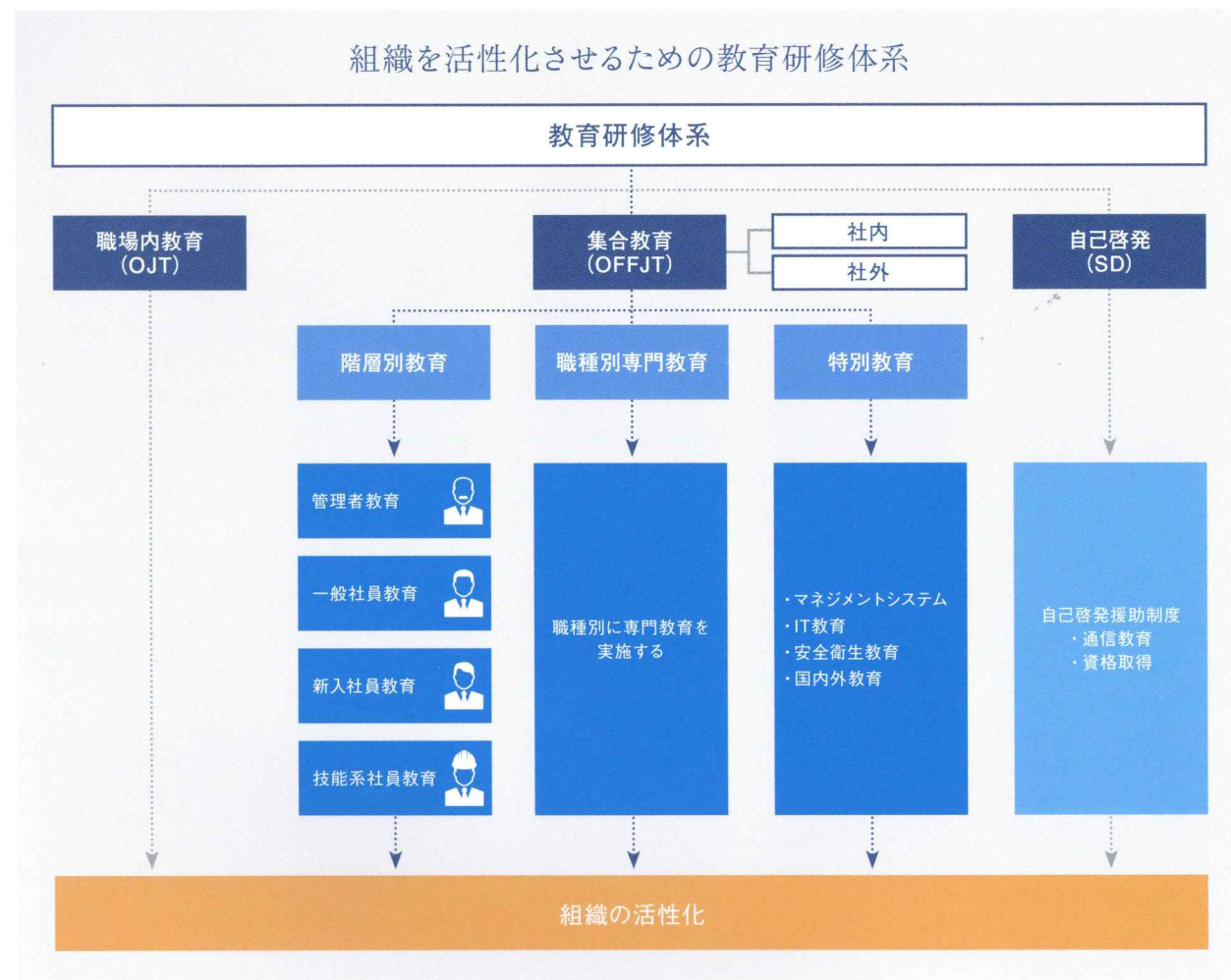


TRAINING SYSTEM

銭高組の教育・研修制度

「人が育つ」ための様々な教育・研修制度

当社では、社員一人ひとりがもてる力を存分に発揮できるよう、諸制度を整備しています。階層別教育や職種別専門教育、職場内教育（OJT）や国内留学制度、海外研修制度などがあります。

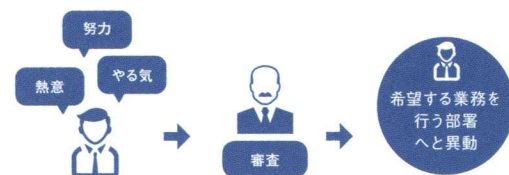


SYSTEM OF ZENITAKA IN THE COMPANY

チャンスを活かせ！ 銭高組の社内制度

対象 全社員

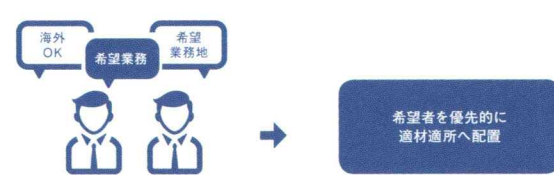
社内FA制度 (Z-チャレンジ21)



社員一人ひとりが保有している能力の発揮と、それによる組織の活性化を目的として、社員が希望業務への挑戦をアピールできる制度を設けています。この制度は、登録した人の「熱意」「やる気」「努力」をしっかりと確認したうえで、希望業務を行う部署への異動を検討します。

対象 全社員

自己申告制度



一年に一度、社員各人が希望業務や希望勤務地、海外勤務の意思確認などを自己申告できる制度を設けています。この制度によって、希望者を優先的に適材適所に配置することが可能となり、配置転換に関しては満足度の高いものとなっています。

TRAINING OF NEW EMPLOYEES

新入社員を対象とした教育制度

対象 新入社員

新入社員研修

新入社員を対象に、入社後2週間の集合研修を実施しています。社内のルールや各部署の業務内容を把握するための講義のほか、作業所見学やタウンウォッチングなど社屋外でのグループワークなども取り入れています。そのほか、定期的に集合研修を実施し、入社時研修の応用講義やメンタルヘルス教育などを行っています。



■ 新入社員教育 (集合研修)



■ 新入社員教育 (現場研修)

EDUCATION SYSTEM OF ZENITAKA

若手社員を対象とした教育制度

対象 入社3年目まで

職場内教育 (OJT)



入社3年目までを対象に、部署内に指導者を置き、日常業務に必要な手順の習得と、実施事項の実践および階層別、職種別専門教育で指摘された弱点の補習等を行っています。新入社員には、選任されたジュニアリーダーが学生から社会人への環境の変化に対する相談や、建設業全般の基礎知識を習得するためのサポートをしています。

対象 事務系新入社員

ジョブローテーション教育



事務系新入社員を対象に、業務内容の早期把握のため、広く社内業務を体験できるジョブローテーションを実施しています。ジョブローテーションの後、希望業務の自己申告と適性などを総合的に判断して配属部署を決定しています。

対象 事務系若手社員

事務系若手社員教育



事務系若手社員を対象に、自らの専門業務以外の事務系社員として学んでおくべき知識や情報を習得するための集合教育を実施し、自部署のみに捉われず、会社業務全般の知識を有する人材を育成しています。

EDUCATION SYSTEM OF ZENITAKA

技術社員を対象とした教育制度

対象 技術系社員 (作業所長候補)

技術者育成プログラム・現場能力向上教育

技術者育成プログラムとして、技術レベルの向上と今後の取り組むべき課題を明確に自覚することを目的に、作業所長候補の全技術系社員を対象とした世代別の社内研修を毎年実施しています。また若手・中堅を対象に、現場研修会も毎年数回実施しています。現場能力(技術や施工方法はもちろん、教科書では学べない現場の知恵など)を伝承するために、現地(作業所)での体感教育を重視しています。



